

入間川地区中学校統廃合保護者説明会報告

【会場：狭山元気プラザ】

- 1 開催日時
平成26年10月25日（土） 14時00分～14時50分
- 2 開催場所
狭山元気プラザ 2階大会議室
- 3 参加人数
10人
- 4 学校職員
狭山台中学校校長、狭山台小学校校長、狭山台小学校教頭
- 5 教育委員会職員（計7名）
教育長
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、同担当主査
学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長
- 6 配布資料
◇ 入間川地区の中学校の統廃合に関する計画（概要）

——— 主な質疑応答及び意見要望 ———

通学に関すること

- Q 特別許可地区の場合、いつ頃までに狭山台中に通うか中央中に通うかを定める必要があるのか。
- A 平成28年度の新入生については、平成27年11月下旬を目途に決めていただく予定ですが、平成27年度に東中に通う1・2年生については、平成27年9月下旬を目途に決めていただく予定です。
- Q 特別許可地区の場合、狭山台中で自転車通学が可能かどうかは、学校を選択するうえでの大きな判断材料となるが、自転車通学の可否は、いつ頃決まるのか。
- A 自転車通学の可否については、学校選択の申請を行う時期の前までには定める必要があると考えています。なお、来年統廃合予定の入曽地区では、6月と9月の二回にわたり説明会を開催し、自転車通学の許可区域が保護者に示されました。

制服等に関すること

- Q 制服の検討状況を教えてほしい。

A 狭山台中学校では、開校40周年記念事業の一環として、生徒が現在着用している制服を見直すこととしました。新制服の選定作業には1年ほどかかるため、新制服は平成28年度入学の生徒から採用したいと考えています。新制服の検討にあたっては、東中の関係者と合同で組織している制服検討委員会に提案して進めていきたいと考えています。

Q 通学用バッグなどについても制服検討委員会で話し合われるのか。

A 通学用バッグや体育着などの扱いについては、学校長が判断しますので、制服検討委員会で検討するということはありません。

部活動に関すること

Q 狭山台中の野球部のグラウンドの3塁側沿いに立っている桜の木の枝が、かなりせり出していて、キャッチボールをするにも支障をきたしている。

A 学校の判断を踏まえたうえで、必要な改善を図ります。

Q 狭山台中に新しく部活ができるのは、来年からではなく、統合する平成28年からということか。

A 来年からではなく、統合により生徒及び教員の人数が増える平成28年から、東中に現在ある部活動を狭山台中に新たに設けることとなります。

Q 部活のユニフォームについて、統一する必要がある場合は市から支給するとあるが、お揃いのエナメルバッグやウインドブレーカーなども含まれるのか。

A あくまで試合に出場するためのユニフォームのみを対象としています。

学校施設に関すること

Q 狭山台中で計画している改修工事について、授業に支障のない夏休みなどに行うなどの配慮はあるのか。

A 基本的には夏休みなどの休業期間を利用して実施する予定です。

Q 狭山台中はアスベスト対策の工事は終わっているのか。

A 狭山台中ではアスベストは検出されていません。

Q 東中は耐震工事をしていないが、統廃合するまで何の対応もしないのか。

A 東中は、文部科学省が求める耐震指標を満たすための補強工事は実施していませんが、耐震性の低い校舎についてはスリット工事を施しています。

その他

Q 平成25年3月に開催された第10回検討協議会で、狭山台中に編入することが決まったが、第10回の会議まで狭山台地区の関係者をメンバーに入れなかった理由は。

A 通学区の見直しについて、平成24年11月に開催した第3回学区部会のなかで、富士見小学校区の部分を狭山台中学校の通学区に編入する案を軸に、今後の協議を進めていくことが決まりました。それを受けて、狭山台地区の関係者については、平成25年2月に開催した第4回学区部会からメンバーとして加わっていただき、検討を進めたものです。狭山台地区の関係者への説明等が遅れたことは否めませんが、説明会やアンケートを実施するなどして、今日まで理解の醸成に努めてまいりました。昨年立ち上げた狭山台中学校区受入検討委員会においても、関係者からご意見を伺いながら、より良い統合に向けた協議を進めていく考えです。

Q 狭山台地区の関係者から理解は得られたのか。

A 説明会の場で、狭山台地区の関係者に対する説明が遅いとのこと指摘はいただいておりますが、多くの関係者から理解を得られるように、今後も丁寧な説明を重ねていきたいと考えています。

Q 前回の説明会の時から進捗した点は。

A 前回の説明会の時点では、検討協議会において検討中の段階でしたが、現在は、検討協議会で統廃合計画に関する提言がまとめられ、それを受けて、市として統廃合計画を策定するという段階にあります。

Q 前回の説明会を踏まえて変化した点はあるのか。

A 狭山台中に関して、東中にある部活動を新たに設置することなどを新たに盛り込ませていただきました。

Q 学校間の教育面における差を埋める手立ては何か考えているか。

A 東中も狭山台中も同じ教科書で授業を行っており、両校とも年間指導計画どおりに進められていますので、教育面における差は殆どないと認識しています。

Q 同じ事を教えていても、実際には個々の先生の力量に違いがあるので、理解力に差は出てくると思われるが。

A 東中と狭山台中の教職員による合同研修会のなかでは、授業内容のすり合わせに関する協議もすでに始めており、学校としては、子供達に不利益が生じないように、綿密に準備を進めていきます。

- ◆ お互いのわだかまりを捨て、円満な統合を実現するためにも、一つの区切りとして、東中と狭山台中両校による統合記念式典を開催してもよいのではないかな。
- ◆ 統廃合に関しては、全ての人に納得してもらうのは難しいと思うが、統廃合に反対の人達に対しても理解を得るための働きかけをしなければ、何かしらのしこりが残ってしまうのではないかな。
- ◆ 狭山台では小学校で統廃合をすでに経験しているが、子供の人数が増えたこと、先生方の層が厚くなったことなどをプラスに捉えている保護者は多いので、統合すれば良くなることが多いだろうと期待している保護者は多いと思う。
- ◆ 狭山台中のPTAとしては、このように決まった以上は、狭山台地区にとっても良かったと思えるような、子供達にとっても人数が増えて良かったと思えるような統合にしていきたいと考えているし、今後も、より良い統合になるように、入間川地区の方々と協力しながら進めていくつもりだ。

入間川地区中学校統廃合保護者説明会報告

【会場：富士見小学校】

- 1 開催日時
平成26年10月26日（日） 14時00分～15時10分
- 2 開催場所
富士見小学校 2階第一図書室
- 3 参加人数
12人
- 4 学校職員
東中学校校長、富士見小学校校長
- 5 教育委員会職員（計7名）
教育長
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、同担当主査
学校教育参事兼教育指導課長、学務課長
- 6 配布資料
◇ 入間川地区の中学校の統廃合に関する計画（概要）

————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

通学に関すること

- Q 狭山台中で自転車通学の可否を決めるにあたり、保護者からアンケートを取るとい
うことはあるのか。
- A 現時点では分かりませんが、今後の進め方についても学校で判断することとなりま
す。
- Q 狭山台中と狭山台小の正門は並びにあるので、自転車は危ないのではないか。
- A 自動車の出入りも含めて、現状においても課題はあると認識しています。
- ◆ 自転車通学や制服は、学校を選択するうえでの判断材料となるので、早目に方向性
を出してほしい。

制服等に関すること

- Q 東中ではジャージで授業を受けてもいいことになっているが、狭山台中ではどうな
のか。

A 現在、狭山台中では原則制服で授業を受けることになっています。それら校内生活のルールを統合後どうするかについても、両校で調整を図っているところです。

Q 平成28年度に狭山台中に入学する子について、上の子が着ていた東中のTシャツなどのお下がりを着ることは可能なのか。

A 学校長の判断によります。

◆ 2年間も制服がバラバラで過ごすのは、どうかと思う。

部活動に関すること

Q 部活動の合同練習は、どのくらいの頻度で行われるのか。

A 具体的な検討はこれからとなります。

Q 統合後も、東中と狭山台中の部活の顧問の先生に引き続き教えてもらうのが理想だと思うが。

A 教職員の人事は、県の異動方針に沿って決められるものですが、統廃合は重要な事ですので、市教委としては、出来得る限りの配慮を県教委に求めていくつもりです。なお、部活動に関しては、必要に応じて部活動指導員として地域の方々に支援をお願いするなど、なるべく生徒の意向が優先されるような体制づくりを整えたいと考えています。

Q 部活のユニフォームは市から支給されるのか。

A 全員に一律に支給するというのではなく、例えば、ピブスの着用などでも大会への出場に支障のない競技については、なるべくそのような方向で対応していただきたいと考えており、大会への出場に際してユニフォームを統一する必要がある場合に限り、市から支給することを検討しています。

学校施設に関すること

Q 狭山台中は、これから統合するまでずっと工事が入ることになるのか。

A 規模の大きな工事は、授業のない夏休みなどの期間を利用して実施する予定です。

Q 冷房設備のない東中では、暑い時期はどのように過ごしているのか。

A 教室の四方に備え付けられている扇風機を活用しています。

Q 耐震工事をしていない東中が大きな地震で倒壊したら、統合の時期が早まるのか。

Q 万が一そのような事態が生じた場合は、統廃合の問題とは別の次元の問題として対処することとなります。

その他

Q 事前交流の日程は、いつ頃決まるのか。

A 事前交流の具体的な内容は、両校間の協議を踏まえ、決まり次第、学校から連絡させていただきます。今のところ、部活動に関しては、土日を活用して練習試合を一緒に行うことなどを考えています。学校行事に関しては、生徒の指導面に配慮しつつ、交流の機会を探っていきたいと考えています。また、生徒会役員同士の交流などは、早目に設定できるのではないかと考えています。

Q 東中から中央中に移る生徒は、少ない人数が想定されるので不安があるが、東中と中央中との間では、統合の準備に向けた話し合いは行われないのか。

A 東中と中央中との間においても、必要に応じて話し合いが行われることとなります。

Q 教科書や教材はどうなるのか。

A 教科書については、市内全ての中学校で同じ教科書が使われています。副教材については、学校ごとに違いますので、東中と狭山台中の教員同士で教科ごとにすり合わせを行っているところです。現在の1年生がすでに使っている副教材については、なるべく無駄にならないような形で活用できればと考えています。

Q 受験を控えた中学3年生の時に環境が変わるのは心配だ。

A 両校の教職員による連絡調整のなかでは、生徒が不安にならないように、授業の進め方についての話し合いも行われています。

Q 生徒会の役員選挙はどうなるのか。統合当初は会長が2人ということもありうるのか。

A 生徒会運営に関しても、両校間の連絡調整のなかで課題として挙げられていますが、生徒達の意見を踏まえたうえで検討していきたいと考えています。

Q 統合後のクラス編成は、どうなるのか。

A 両校の生徒が混じりあう形でのクラス編成が基本となります。

Q 年間の学校行事の違いは、両校でどのようにすり合わせるのか。

A 学校行事についても、両校の間で今後協議することとなります。

Q 狭山台中か中央中を選べる特別許可地区に住んでいるが、選ぶ際の判断材料として、両校に関する情報がもっとほしい。

A 各中学校では学校公開を随時行っています。また、ホームページを通じて、学校だよりなど学校に関する情報を広く公開しています。

- ◆ 関係する小学校の子供がいる家庭にも、狭山台中や中央中の学校だよりを戸別に配ってほしい。
- ◆ 学校では、吸収ではなく、より良い統合に向けて準備を進めてもらっていることが分かったので、安心した。